

# 青少年国際平和未来会議2021

## International Youth Conference for Peace in the Future 2021

広島市の青少年8名は、2021年8月、ボルゴグラード市主催の青少年国際平和未来会議2021（オンライン）に広島市代表として参加しました。

その準備として、被爆の実相や国際理解について、基本的な知識を学び、また、様々な立場にある方々と交流することを通して世界恒久平和を希求する心を育て、本会議において世界各都市の青少年に何を発信していくのか考えました。

※青少年国際平和未来会議…広島市の姉妹・友好都市等世界の国々の青少年と本市青少年が互いに世界平和について考え、意見を交換し合うことにより、友情と相互理解を深める。また、広く世界の青少年に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を伝え、次代を担う青少年の世界平和への意識を高めることにより、グローバル人材の育成を図る。



### 1. 被爆体験講話

参加者は、被爆体験講話を聞いて、被爆者一人一人に起こった被爆体験と平和への思いについて考えを深めました。

#### 【感想1】

●8月6日に広島に人類史上初めて原子爆弾を投下されたという悲惨な事実が伝わっていること非常に大切だと思います。しかし、それ以上に今回の講話でもお話いただいたようにそれぞれ被爆者の方が経験された悲しみであったり、



また失ったものといったことを私たち広島出身の若者がより深く伝えていかなければ、もっとその原爆の悲惨さということが伝わらないなと感じました。またそのうえで、そういった部分を大切にしながら歴史上の事実のみでなく、また人の感情面といったそういった側面も伝えていかなければならないなというふうに改めて感じる事が出来ました。

#### 【感想2】

●お話を聞いて原爆の恐ろしさ、そして平和への大切さを改めて感じました。原爆投下後の被害だけでなく身体的・環境的な後遺症が長く続くことを改めて感じ、平和の大切さや戦争の恐ろしさを次の世代に伝えていくことの大切さを痛感しました。

私たちが責任をもって伝えていく必要があると改めて感じるようなお話でした。



## 2. 広島平和記念資料館館長 講話「記憶の継承」

参加者8名は、広島平和記念資料館見学の後、資料館館長の講話を聴講し、被爆の実相について知識を深めるとともに、これを「継承」する決意を新たにしました。



## 3. 事前研修

事前研修では、参加者8名は話し合いを重ね、研修の進行、オンライン会議でのプレゼン等の構成を考え、与えられた役割を果たしていきました。同じ志を持って集まった参加者それぞれが、主体的に事前研修に臨み、青少年国際平和未来会議そのものを自らの手で作り上げるのだという意識を互いに高め合うことができました。



国際理解学習



広島市プレゼンテーション準備



開催都市ボルゴグラード市について調べたことを紹介

## 4. 平和記念式典参列

参加者8名はこれまで事前研修で学んだことを思い返しながら、本市青少年を代表して平和記念式典に参列しました。



### 【感想1】

●本日は原爆で犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、このような場に立ち会えたこと感謝いたします。

広島市長は平和宣言の中でこれからの若い方たちに核兵器はあってはならないこと発信して欲しいとおっしゃられていました。私たちはこの言葉を受けて青少年国際平和未来会議を通して世界の方々と平和について協議していきます。そして協議したことを全世界に向けて発信していくことを誓います。

本当にこのような場に立ち会えたことを感謝します。ありがとうございました。

### 【感想2】

●76年前の今日広島に原子爆弾が投下され多くの人々の命を奪いました。

この惨劇を思い亡くなられた方々に敬意を払うとともに世界平和を祈念するため私たちはここに集まりました。年に一度のこの式典に特別に参列でき光栄に思います。この素晴らしい機会を与えてくれた青少年国際平和未来会議に感謝します。

私たちは「平和」「愛」「優しさ」を世界に広がります。



## 5. 海外都市とオンライン会議

参加者8名は、2021年8月2日から8月15日にかけて、ボルゴグラード市が主催する青少年国際平和未来会議2021（オンライン）に参加しました。

7か国8都市の青少年総勢34名が集まり、ボルゴグラード市の歴史について学んだほか、8月6日に行われた各都市での記念式典についての報告や活動など、様々なプログラムに参加しました。

参加者は小グループに別れ、意見交換を行い、平和貢献活動を考え、SNS等を通して世界に発信しました。

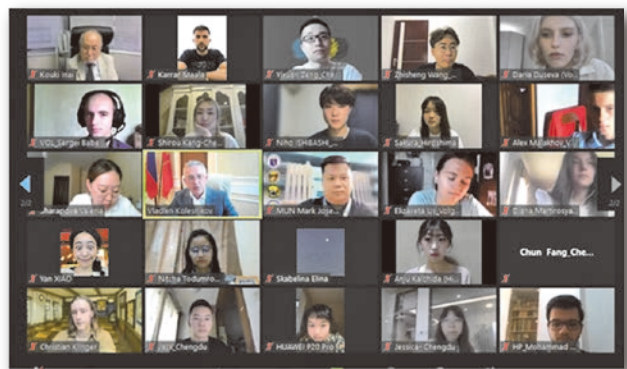
さらに、各都市の紹介や、文化・習慣についてのプレゼンを行うなど異文化交流を行いました。参加者8名は、原爆詩の朗読や慰霊碑等の紹介動画を発表しました。



広島市プレゼンテーション動画



SNSを使って平和活動を展開



オンライン会議の様子

## 6. 参加者の感想

青少年国際平和未来会議議長は全プログラムに参加することを通じて、平和活動に貢献した広島参加者に対し、今後の活動を期待して「ヒロシマ平和未来大使委嘱状 兼 活動証明書」を交付しました。参加者それぞれが本事業の振り返りを述べ活動を終わりました。

### 【感想1】

●事前研修については、世界平和実現のために日々活動している方々からお話を聞かせていただき、メンバー全員が刺激を受けました。私達の世代はこれから社会のリーダーとしてバトンを受け継ぐのだという自覚を持ったと共に、世界平和実現のために具体的にどう動けば良いのかを考えるきっかけとなりました。また、会議に向けて広島メンバー同士のチームワーク力を高め、事前準備は互いに助け合いながら進めました。



会議でもディスカッションの際は、なかなか発言できないメンバーや、時間管理がうまく行かないときもありましたが、後半は皆積極的になり、短時間で深く話し合うことができるようになりました。

これらのことを踏まえて、この会議は様々な専門家の話を聞くことができるだけでなく、平和を実現するためには必要不可欠な「話し合う力」を身につけることができました。今までに経験したことのない充実した2週間でした。

## 【感想2】

● ようやく迎えた参加国の人々とのオンライン会議では沢山の意見を知ることができましたし、どの国に生まれたかからといって平和への思いは変わらないのだと感じました。そして、過去に自分の国が犯した過ち、反省、戦争について知りました。言語の壁があり、上手く言葉にして伝えられないのを歯痒く思いながらも、皆が意見に耳を傾けて伝えたいことを汲み取ってくれているのを嬉しく思いました。グループ内で意見が対立し、ぎすぎすした雰囲気になってしまう時もありましたが、皆の恒久平和実現への気持ちの強さと自己をしっかり主張できる力を見ることができた気がして少し嬉しかったです。しかし、自分の意見を一方的に主張して終わるのではなく価値観の違いからも考えて、相互の意見を尊重し、受け入れ、受け止めてあげることが相互理解を深めたり、国家間の関係を改善したりするためにも必要な考え方なのではないかと感じました。



## 【感想3】

● 私たち広島市民は、平和といえば8月6日の出来事が一番に思いつくと思います。ですが、海外メンバーは原爆のことについて詳しく知らないひとがほとんどで、ショックを受けました。同時に、私もみんなの国や町の悲劇を全く知りませんでした。このことに気づいて、とても自分の視野が広がったように感じます。平和について広島の視点から発信することはとても大切だと思いますが、日本に被害を受けた人も世界には大勢いること。原子爆弾だけが平和の尺度ではなく、他の県や他の国でも戦争によって与えられた悲惨な過去があるということを忘れず、相手を尊重し

ながら対話を進めることが1番の平和への近道だと思います。海外で様々な視点から広島について伝えられる人になりたいと改めて強く思いました。

また、チームメンバーがみんな言語や文化関係なく優しくしてくれて本当にうれしかったです。最後の会議が終わった後にみんなで電話をしたとき、自然に涙が出たのは自分でもびっくりしました。価値観を大きく変えられて、大切な友達がたくさんできました。参加できて本当に良かったと思います。



## 【感想4】

● 広島チームの皆さんと対面して、同じような志を持つもの同士で1つの目標に向かって活動をしていくのはとても楽しく、オンライン会議の前から不安よりも楽しい、わくわくする気持ちが大きくなっていきました。特に、広島チームの紹介動画では、各々が素材を集めて、ひとつの動画を作り上げるのは大変でしたが、創意工夫して素晴らしい1本を作り上げることが出来て達成感を感じました。

オンライン会議をし始めてからは、さらに活動が楽しくなりました。他のチームのプレゼンを聞いた

り、海外の方と平和についての意見を交換するのは勉強になることが多く、また、自分の英語能力のなさを実感しました。自分の思うことを思う通りに伝えられないというのはとてももどかしく、これからもっと勉強しようという気持ちを高めることもできました。海外の若者とチームを組んだことにより、仲良くなれたこともとても嬉しく、これからも連絡を取り続けていけるといいなと思います。

青少年国際平和未来会議2021に参加して本当に良かったと心から思います。まだ活動は終わりではないので、これからの活動も精一杯頑張っていこうと思います。また、活動が終わったあとも、ここで学んだことを自分の将来に活かせるよう、行動していこうと思います。

